



ワークショップを開催

日々の暮らしに公共交通を
“ちょい足し”してみませんか？

とき

11月19日(金)、20日(土)
午前10時45分～(約90分)

ところ

イオンモール東浦
2階 イオンホール

バスぷら博士

名古屋大学大学院 研究員 大野 悠貴氏
青森県弘前市で、バスを「プラスα=ちょい足し」するお手伝いをしています。

自分らしい公共交通の使い方を発見していただく、全2回のワークショップです。
車がなくても、楽しくおでかけできるように、みんなで一緒に考えてみませんか？

●定員 36名(先着順)

●申し込み

10月29日(金)までに申込書を問い合わせ先へ(電話申込可)

●問い合わせ

東浦町役場 防災交通課

☎0562-83-3111 (内線348)



テーマ内容

	テーマ	内容
第1回 11/19	本当に 大事なおでかけは何？	「今おでかけしたいところ」、「将来にわたっておでかけしたいところ」を可視化することで、日々のおでかけ行動を見直し、自分にとっての「おでかけの大切さ」について考えていきます。
第2回 11/20	私の暮らしに 公共交通を “ちょい足し”してみよう!	公共交通を使いこなすために、自分や周囲の人の暮らしに公共交通を“ちょい足し”するためのレシピを考え、発表し合います。 ※“ちょい足し”レシピの例：自分が利用する機会をつくる、周囲の人が利用する機会をつくる、利用しやすい環境をつくる、等
	フィールドワーク 感染対策のため、参加者が個別に自由実施	感染状況を鑑み、可能であれば“ちょい足し”レシピを実施し、感想を記載した様式(目的地、同行者の有無(人数)、利用用途、利用ルート、感想等)を防災交通課に提出していただきます。頂いた内容はニュースレター等でフィードバックさせていただきます。



ワークショップ 参加申込書

申込期限

10月29日(金)

※電話申込可

記入欄			
住所			
氏名			
生年月日		電話番号	

No.